

音読の薦め

まだご存じない方も多くいらっしゃいますが、佐久市文化事業団では芸術体験講座（通称：パス）を毎年10回以上開催しています。これは第一線で活躍中の著名なアーティストを招いて、実演鑑賞と芸術体験を一緒にやってしまう何とも魅力的で贅沢なプログラムです。

今回は朗読講座と合わせリーディング公演を、日本を代表する俳優の第一人、壤晴彦氏と、氏が主宰する演劇倶楽部『座』のメンバーで実施致します。

文章を声に出して読むコツや声の出し方などを分かり易く学びながら、相手のことを意識してちゃんと伝わるように読む大切さを体験いただけます。読み聞かせなどにも役立つはずですよ。

脳にも良い影響を与えていると言われている音読、この機会にぜひ一度芸術体験講座に参加されてみては如何でしょう。

企画・監修 （一財）佐久市文化事業団館長兼芸術監督 奥村達夫



俳優 壤晴彦 Haruhiko Jo

狂言大蔵流・茂山千五郎（故茂山千作・人間国宝）に師事。その後「劇団四季」正劇団員を経てフリーに。「テンペスト」「近代能楽全集・卒塔婆小町」等で主演を務める。94年には英国のロイヤル・シェイクスピア・カンパニー（RSC）プロデュースの「パール・ギェント」に唯一の東洋人キャストとして参加、また蜷川作品にも数多く出演するなど、日本を代表する演劇人の一人である。さらに93年より演出活動を開始。和の劇団・演劇倶楽部「座」を主宰するほか、TV、舞台、朗読などの演技指導者としての評価も高い。大阪芸術大学講師・NPO日本朗読文化協会顧問。

■最近の主な出演作

「ルドルフ」（2008）・「ジェーン・エア」（2011・2013）・「十二夜」（1998・2015）・「バイオハザード」（2016）・「ハムレット」（2003・2017）・「リチャード三世」（2017）等。
「パイレーツ・オブ・カリビアン」・「ライオンキング」・「スターウォーズ」の洋楽吹替等、声優としても活躍中。

俳優 相澤まどか Madoka Aizawa



7歳よりクラシックピアノを始める。ダンスを生かしてミュージカルの舞台で活躍。演劇倶楽部「座」に入所後は、日本の伝統芸能の美しさに感銘を受け、日本舞踊（林流千永派名取・林千から）、新内浄瑠璃・三味線（鶴賀流）を研修中。同劇団公演での主演作も多く、看板女流として活躍している。

■最近の主な出演作

「野菊の墓」母親役（2018）・「江戸おみやげ」お紺役（2017）・「鶴八鶴次郎」鶴八役（2016）・「おたふく」おたか役（2010・2016・2018）・「ちゃん」お蝶役（2015）等



俳優 村上如水 Josui Murakami

大阪芸術大学 舞台芸術学科卒業
「座」付属研究所22期生修了

■『座』での本公演出演作品

「おたふく」瓦版売役（兼演出助手）（2018）・「お江戸みやげ」鳶役（兼演出助手）（2017）・「殺陣師段平」高島役（兼演出助手）（2017）・「おたふく」瓦版売・女中役（兼演出助手）（2016）等

アクセス



演劇倶楽部『座』について

長きにわたって「美しいことばと姿と音楽」を標榜し、日本の優れた文学を、演技と舞踊と生演奏で上演し続けて来た演劇倶楽部『座』。今春から体制・運営を大幅に見直し、「和」の舞台・レパートリー長期公演を目指す新たな集団へと生まれ変わり更なる飛躍を目指します。レパートリー参加型・スキルアップメンバー（一定のステージキャリア保有者）と研究生（初心者）を現在募集中。詳しくは演劇倶楽部『座』までお尋ねください。